



WAKO'S スーパーカート筑波シリーズ第5戦

開催コース/筑波サーキット (茨城県)
 主催/日本スーパーカート協会
 開催日/10月19日 天候/晴れ
 路面状況/ドライ

筑波シリーズは今回が最終戦、ついに2014シーズンの終幕を迎えることとなった。

エントリーは3クラス24台。その内訳を見ればSK1に9台、SK2が8台、そしてSK4には7台だ。

午後一番にスタートを切った決勝レース。そのコンディションはカラッとした秋晴れで最高の状態といえるだろう。

まず飛び出したのはSK1の大王こと吉野善弘だ。続いて小野間悦久、そして荒木耕一というビッグ3がトップ争いを開始する。

最終からストレートの区間にアドバンテージを感じていたという小野間がレース中盤、吉野に仕掛けて逆転に成功。そこから一気にペースを上げるとファーストチェッカー、優勝と共にタイトルを決定するという有終の美を飾った。

SK2では混戦状態ながらも藤木章二がトップをキープしたが、川島浩が集団から抜け出し藤木をかわして逆転。そのままの勢いを保ってチェッカーとなる。しかし、ポイントリーダー藤木に僅かに届かずタイトルは藤木の手には届かなかった。

SK4では桜井晋吾が快勝するも第2戦のノーポイントが響き、タイトルは2位に入った河村孝の頭上に輝いた。



完璧なレース運びで大王吉野を抑えての勝利。そして2014シーズンを制した小野間



安定した走りで確実にポイントを重ねていった藤木が激戦区SK2で新チャンピオンに



SK1からクラスチェンジしたベテラン河村がSK4を制してタイトルを獲得する



SK2最後のウィナーとなった川島浩。うまく混戦を抜け出し、匠の技でトップをゲット

SK1・SK2・SK4 表彰台



SK1表彰台。小野間を挟み右が2位の荒木、3位吉野(代理)



SK2表彰台。優勝の川島、右が2位の尾川、3位は鋪野



SK4表彰台。トップ桜井の右が川島、3位は小林